

【議案 1】 2023 年度 事業報告

2023 年度はこれまでも FUNN が大切にしてきた職員の行動指針をもとに、2023 年定期総会に提出した活動計画と「明日の FUNN プロジェクト」（以下明日 FUNN）の実施目標を意識しつつ、変動する状況を踏まえて事業を実施しました。

2023 年度事業報告目次

1	2023 年度事業別活動報告	
1-1	NGO の活動や運営に関する支援	P4
1-2	国際協力に関する調査・提言	P7
1-3	国際協力に関する情報・学習機会の提供	P11
1-4	NGO 活動に関する人財育成	P19
1-5	NGO 間及び各種団体との連携促進	P20
2	組織	
2-1	組織運営・体制	P22
2-2	会員	P23
	別添 明日の FUNN プロジェクト	P24

2023 年度重点項目：明日の FUNN プロジェクトの取り組み項目より

- 1-2 団体調査を通じ新規の繋がりを増やす。30 周年イベントを団体同士と団体と市民が繋がる機会とする。
- 2-1 九州地域の NGO について分野別に整理する（継続）NGO-外務省連携推進委員等として関連団体と情報交換しつつ必要な提言を行う。福岡県内の団体調査を 2023 年中実施する。
- 5 団体調査の結果を受け、24 年度の新規事業を計画する。

◆FUNN 職員行動指針・・・

「人と世界をつなぐ」

「国際協力に関心があり、世界を知りたい・行動したい・サポートが欲しいと思っている人たち」に向けた活動。世界で起こる問題と私たちの暮らしとの関係性、私たちにできる関わり方や、必要な知識とスキルを伝えていく事で、国際協力への次の行動や選択肢を見つけることができる人を増やしていく。そうした人々が加盟団体につながることで、活動の活性化、発展を促す。

「NGO に関わる人と人をつなぐ」

「加盟団体の理事・職員・支援者・参加者」に向けた活動。同じ国際協力に関心を持つ人や、似た環境にある人同士や世代を超えた関係性をつくり、お互いの学びの場や居場所と感じられる場を提供する。加盟団体における個人同士のつながりを生み出すことで、組織間の協力を促進する。

「NGO と他セクターをつなぐ」

「NGO と、企業・教育機関・行政などの他セクター」に向けた活動。セクター間の協働への関心を引き、具体的な事例を紹介し、連携に向けてのアドバイスをし、NGO と他セクターのつながりを生み出す。協働の可能性と力を広げていくことで、NGO の社会的基盤づくりを促進する。

1. 2023 年度事業別報告

1-1. NGO の活動や運営に関する支援

1-1-1. 2023 年度の方針

研修・団体間交流や広報協力を通じた活動における組織・能力強化支援と、助成金事業による資金的支援の充実を図り、団体活動の活性化を目指します。

[明日 FUNN 目標]

- ・九州の NGO のための資金・基金作りができています。
- ・加盟団体が増加し、交流・情報交換の場となっている。
- ・新規事業（海外事業・有償支援事業等）について検討し必要に応じて実施できている。

1-1-2. 2023 年度の活動

① 正会員団体の資金調達、NGO 活動強化に資する情報の提供

■ 情報提供や人財紹介

○計画：FUNN 公式ホームページ、メールマガジン、機関紙（国際協力ニュース）等を通して、NGO 関連情報や助成金情報の提供、人財・ボランティア紹介などを行います。外務省・JICA 等からの情報を関係団体と共有するほか、FUNN 独自にも情報収集を行ない、メールマガジン等による配信・案内を行います。

○実施内容：FUNN 公式ホームページ、メールマガジン、機関紙（国際協力ニュース）等を通して、NGO 関連情報や助成金情報の提供、人財・ボランティア紹介などを行いました。外務省・JICA 等からの情報を関係団体と共有するほか、FUNN 独自にも情報収集を行ない、メールマガジン等による配信・案内を行いました。定期講読者に年間 23 回発行したメールマガジンでは、助成金情報のほか国際協力・NGO に関わるお知らせの提供を行いました。他に正会員団体へはメールマガジンとは別に助成プログラムや NGO スタッフ向け研修、政策提言に関する意見募集等団体運営に関する情報の共有を適宜実施しました。

○成果：上記の実施により、イベントや研修情報だけでなく NGO 向けの助成金、緊急支援に関する情報等を幅広く共有することができました。また、FUNN が受けた NGO 相談内でボランティアの参加に関する問い合わせの際に関係機関や正会員団体への紹介も行うことができました。

② 広報活動の支援

■ 情報の発信

○計画：ウェブサイト、SNS、メール、機関紙等を通して、加盟団体を中心とした NGO 等の情報を市民に発信します。

○実施内容：正会員団体から依頼を受けた情報を FUNN ホームページやメールマガジン、機関紙（国際協力ニュース本文とチラシの挟み込み）を通じ市民や関連機関に発信しました。その他にも独自に収集した正会員の活動情報や関係機関、NGO の研修・イベント情報、また市民からの関心が高いミャンマーやアフガニスタン・ウクライナ等の人道支援やトルコ・シリア大地震に関する災害支援の情報も適宜発信を行いました。ホームページでの NGO 情報紹介は 23 件、メールマガジン（23 回発行、登録者数 453（2023 年 3 月末））では毎回 5 件以上の団体イベントや募金情報を掲載しております。

○成果：上記の実施により、正会員団体の活動や募金情報を中心に、他の NGO が行う関連活動情報を市民や関係者に届けることができました。

③ NGO の組織・能力強化の支援

■ 九州地域 NGO 活動助成金

○計画：宗教法人真如苑と F U N N との協働で、加盟団体を中心とする九州地域の NGO を対象にした助成金プログラムを企画、実施します。

2023 年度も引き続き国際協力支援事業及び多文化共生事業に関する事業を助成対象といたします。今年度引き続き九州の NGO 団体に活用していただける助成プログラムを、活動のフォローアップや報告の機会の充実など内容の一層の充実を検討しつつ実施していきます。

〔明日 FUNN23〕 1-① 前年度に引き続き助成金説明会時に前年度受託団体の報告会を計画する。

○実施内容：今年度は募集説明会の際、前年度採択事業の紹介に加え、その 1 つについては実施団体より事業報告をして頂きました。11 団体（内 4 団体が新規応募）から応募があり、審査会を経て 8 団体が採択されました。このうち基盤整備 2 件、海外プロジェクト 2 件、国内プロジェクト 3 件、海外・国内プロジェクトが 1 件でした。※今年度も基盤整備助成が最大 10 万円、プロジェクト助成が最大 20 万円で実施しました。

・募集期間：2023 年 7 月 22 日（土）～8 月 26 日（土）/募集説明会：7 月 27 日（木）

・審査会：9 月 16 日（土）

・採択事業実施期間：2023 年 10 月 1 日（それ以前に開始も可）～2024 年 3 月 31 日

・採択団体と事業

□（一社）モザンビークのいのちをつなぐ会「モザンビーク共和国ペンバ寺子屋での子ども配食活動」

□（任団）多文化共生サポートつながる・たすかる・だいじょうぶ

「多文化共生サポート活動に関する組織基盤整備事業」

□（任団）子どもに能楽を勧める会「子どもと留学生の能楽発表会と留学生との交流会」

□（一社）福岡デンマーク協会「リアル・オンライン・併催により新たな基盤とファンづくり啓発事業」

□（特活）地球市民の会「ミャンマーCSO スタッフ招聘、視察・交流事業」

□（特活）バングラデシュと手をつなぐ会「多文化共生のためのイスラム教徒理解向上プログラム」

□（任団）リトルドリーム「日本の学校体験事業の事前調査と活動基盤整備」

□（任団）フレンズ国際ワークキャンプ九州委員会「フィリピンの貧困村でのインフラ整備事業」

○成果：申請説明会の折に前年採択団体より活動報告をしていただいたことで、助成金を活用した事業のイメージが伝わり、そのこともあって 2023 年度は 11 団体と今までで最多の応募があり、そのうち新規応募団体が 4 団体で当助成金事業の広がりをつくることができたと考えています。2023 年度は 2 団体の組織基盤整備と 6 つの支援プログラムに活用していただきました。また翌年度事業期間になりますが、報告書受領後の 2024 年 4 月に、はじめて採択団体の方々に集まっていただき事業報告会を行い、団体同士の活動を知って頂く機会を作ることができました。

今後は、資金面での支援だけでなく採択団体の活動や運営についての伴走支援や採択団体同士が交流しあえるような非資金面でのサポートができるよう関係各所とも検討を重ねてまいります。



▲ 審査会の様子

■ NGO 組織強化研修

○計画：昨年度に引き続き JICA 地域拠点への提案を通じて実施される組織強化研修に提案・実施できるようにしていきます。全国公募される NGO 等提案型プログラムについても再開の動きがあり、応募を検討していきます。また 2023 年度は、本年度実施する NGO 団体調査を通じて課題を整理し、新規の研修や支援事業を検討していきます。

○実施内容： NGO 等提案型プログラムの公募がされ、FUNN も応募を致しましたが、残念ながら不採択となり、実施ができませんでした。新規団体や小規模団体の基盤強化のニーズはあるため、別の形での研修開催や取り組みも含め、組織強化の支援ができるよう検討を続けていきたいと思えます。

■ 加盟団体支援

○計画：新規事業（海外事業・有償支援事業等）について検討し必要に応じて実施していきます。

○実施と成果：加盟団体より会計業務に関する相談があり、記帳代行についての有償支援を行いました。現地での活動を優先され、こうした業務を行えない状況だったため、必要な支援であったと考えています。この支援によって、団体が次のステップに進む準備ができたことを成果として考えます。

■ 加盟団体交流会

○計画：加盟団体の交流会を定期的に持てるようにしていきます。こうした機会を通じ、団体のニーズを把握し必要な研修等を実施できるようにしていきます。

[明日 FUNN23 / 重点] 1-② イ) 30 周年イベントを団体同士と団体と市民が繋がりあう機会とする。

○実施内容：今年度は以下の交流機会を設定しました。

- ・5月27日（土）定期総会終了後の交流会。5 団体参加
- ・6月21日（水）西南学院大学 NGO 合同説明会。6 団体参加
- ・11月23日 FUNN30 周年記念イベント。9 団体参加

○成果：各団体の活動実施状況、課題や取り組みの工夫の共有ができました。特に 30 周年記念イベントでは団体同士が活動状況を共有し、交流のできる貴重な機会を作ることができました。

■ FUNN としての基金作り

○計画：緊急支援基金等 FUNN としての基金作りについて検討します。

○実施内容：今年度は他事業の実施スケジュールの関係上、協議する時間を設定することができず、実施できませんでした。

■ 加盟団体の増加促進

○計画：[明日 FUNN23 重点] 1-2 ア) 2023 年度に行う福岡県内在留外国人支援団体調査を通じ、新規のつながりを増やす。

○実施内容：調査については 1-2-2 ■ 九州地域 NGO についての情報収集・整理参照。

○成果：調査で福岡県下の団体・個人の方々と新しいつながりができました。団体として加盟を検討いただいたり、賛助会員になっていただいたりしているケースもあります。

1-2. 国際協力に関する調査・提言

1-2-1. 2023 年度の方針

NGO のネットワークとして、NGO や市民全体にかかわることに関して、調査・提言活動に取り組みます。様々な機会を捉えて九州地域の国際協力にかかわる団体が地域でどのような問題を抱えているかを知り、提言につなげていくよう努めます。

〔明日 FUNN 目標〕 調査研究を行い、シンクタンク機能が果たしている（委託事業受託）。調査等に基づき、必要な提言活動ができています。

1-2-2. 2023 年度の活動

国際問題の調査・研究および国際機関・政府等への政策提言活動

■ 2023 年度 NGO・外務省定期協議会 ODA 政策協議会

○計画：ODA 政策協議会に参加し、情報提供を行います。

○実施内容：ODA 政策協議会に参加し、情報を理事会等で共有しました。

・7月28日 第1回 ODA 政策協議会（外務省・オンライン）

2023 年度予算の概要・2024 年度概算要求の概要 ・大綱改定と市民社会ネットワークの声明 ・改定プロセス振り返り ・対ミャンマーODA に関して

・12月14日 第2回 ODA 政策協議会（外務省・オンライン）

N ピボについて ・N 連第三者評価報告 ・日本政府によりグローバルサウスとの連携強化推進政策
インド G20 の評価 ・ブラジル G20 への期待と市民社会の提言 ・難民認定申請者の保護措置・予算
について ・R6 外務省概算要求について

・3月28日 第3回 ODA 政策協議会（JICA 関西・オンライン）

○成果：協議の場に参加し、状況をフォローアップし、その内容を理事等関係者と共有できました。

■ 2023 年度 NGO・外務省定期協議会 連携推進委員会

○計画：連携推進委員会の委員として参加し、全国の現場で活動する NGO と連携し、NGO の立場から外務省と協議を行います。

〔明日 FUNN23 重点〕 2-1 イ) NGO-外務省連携推進委員等として関連団体と情報交換しつつ必要な提言を行う。

○実施内容：FUNN から事務局長安村が連携推進委員会 NGO 側委員として参加しました。NGO 環境整備事業提言チーム、NGO 連携無償資金協力提言チームに参加し、全国、九州の NGO の意見集約や外務省への提言活動を行いました。

【開発協力大綱改定に関する動き～定期協議会 NGO 委員会全体】

・4月～6月 開発協力大綱改定案に関する市民社会意見交換会

・6月9日大綱閣議決定時に市民ネットワークの声明発表「[多主体間の連帯に基づき、複合的危機を克服する新たな国際協力の構築のために](#)」

【連携推進委員会】

・6月22日 連携推進委員会・賛助会員の集い

・7月11日 第1回連携推進委員会（外務省・オンライン）

報告：N 研「NGO の資金調達リデザイン化と財務内容の強化」調査報告、N ピボ

- 協議：1) 重点課題～連携強化の実装、現状報告 2) R4N 連振返りと今年度状況
- ・8月10日 NGO 外務省定期協議会全体会議（オンライン）
 連携推進・ODA 政策協議会活動報告 ・G7 サミットでの政府・市民社会連携振り返り ・今年度開
 協力の取り組み ・大綱改定関連（パブコメ中心に）
 - ・12月1日 第2回連携推進委員会（JICA 関西・オンライン）
 報告：N 連第3者評価、N 連来年度要領変更への希望、N 環報告と予定
 協議：1) オファー型協力における市民社会・NGO の参画 2) R5 年度 N 連審査状況と予算
 ひっ迫について
 - ・12月2日 神戸にて委員合宿
 - ・NGO 連携無償資金協力・来年度新規案予算枠不足への対応 NGO 側意見徴収（2/16 九州実施）
 - ・3月18日 第3回連携推進委員会（外務省・オンライン）、政務官面談
 協議：1) オファー型協力実施案件の現状と市民社会／NGO の参画 2) N 連に関して（R5
 状況、R6 の進め方、予算不足に対する進め方）
 - ・他に NGO 側委員会、外務省民連室とのタスクフォース会議、賛助会員説明会等随時参加。
- 成果：外務省担当部署との継続的な対話が行え、政務官面談でも ODA を通じた NGO 支援の意義
 を訴えることができました。九州の関連 NGO の意見を聞き、N 連要項改定や、予算対応等への NGO 側
 意見に反映することができ、一定の成果を得ました。ODA 予算全体が厳しい状況にありますが、今後も連
 携の必要性を訴えていきたいと思えます。

■ NAICiS 市民社会スペース NGO アクションネットワーク

- 計画：広く市民社会組織として、国際協力 NGO として、市民社会スペースを確保し国際協力 NGO が
 相互に協力する仕組みとして設立された市民社会スペースの構成団体として関わります。
- 実施：NANCiS の構成団体となり、世話人会に藤井理事が可能な折に参加しました。
- ・世話人会毎月1回実施、市民スペースに関わる情報交換や運営について話し合った。
 世話人会実施日：4月21日、5月29日、6月26日、8月4日、10月3日、12月8日、2024
 年1月9日、2月4日（WS 打合せ）、3月15日
 - ・3月9日 NANCiS 主催 多様性教育・異なる意見の背景を考えるワークショップ
- 成果：参加を通じて、狭まりつつある市民スペースの問題について情報を共有し、催し等の情報を発信し
 ました。

■ NGO 非戦ネット

- 計画：国際協力に関わる NGO やグローバルな観点から市民活動に関わる市民社会組織による安保法
 制案や戦争政策に反対するための継続的で緩やかなネットワーク団体である NGO 非戦ネットの活動に参
 加します。
- 実施内容：近年休止状態でしたが 2023 年再稼働した非戦ネットに FUNN の二ノ坂代表が呼びかけ
 人として参加、活動内容を共有し、FUNN 事務局より会員や一般に向けて発信しました。
- ・9月7日(木)10～11:30 呼びかけ人会議 内容：活動報告・今後の方向性・会計・web 運営ル
 ール、OSA 対象国の現場からの声を届けることを中心に、国内問題にも目を配りながら進めることになった。
 - ・日本政府にイスラエル・パレスチナ武力行為停止への働きかけを求める要請、FUNN 賛同（10月）
https://www.ngo-jvc.net/activity/advocacy/20231011_gazastatement.html
 - ・NGO による外務省への要請文：国際会議における「即時停戦」への働きかけ、メッセージの発信を（非
 戦ネット経由）（11月）

https://www.ngo-jvc.net/activity/advocacy/20231106_gazastatement.html

・日本YWCA：10月22日、報道関係者に向けた添付の要請書「現在ガザ地区で起こっているジェノサイド（大量虐殺）を止める報道を！」発信、団体・個人の賛同を呼び（非戦ネット経由）

<https://www.ywca.or.jp/news/advocacy/letter231022/>

・11月20日院内集会「他国軍への武器援助 OSA はどんな国に供与されるのか？」参議院議員会館講堂 http://ngo-nowar.org/2023/11/06/innaishukai_osa_20231120/

・12月下旬：ガザ地区「停戦」に関するアピール、賛同呼びかけ。・ガザ地区「停戦」を願う NGO、人道支援団体、アカデミア、医療従事者、宗教者等による共同記者会見趣意書：団体賛同

○成果：平和を求める NGO 声明に FUNN も賛同し、関連情報を発信しました。

■ NGO-JICA 協議会

○計画：NGOとJICAの対等なパートナーシップに基づき、より効果的な国際協力の実現と、国際協力への市民の理解と参加を促進するための意見交換の場である NGO-JICA 協議会に参加します。

○実施状況：NGO-JICA 協議会に参加、または参加できなかった回も情報収集をしました。

・9月13日 第1回協議会（オンライン・JICA 本部）（FUNN 欠席）

議題：・NGO-JICA 勉強会の報告と今後の予定について ・ジェンダー主流化における JICA・NGO の連携促進の可能性について ・市民参加協力事業に関する動向について ・フェアトレードの推進へ向けた取り組みの共有と連携の可能性について

・2024年3月12日 第2回協議会（オンライン・JICA 本部）

議題：「開発のための新しい資金動員に関する有識者会議」について ・JICA 予算の現状及び今後について ・市民参加協力事業の現状及び今後の方向性 ・能登半島地震の支援他に対する復興支援

・2024年度 NGO 側コーディネーター推薦の検討

○成果：協議会の情報を正会員団体や関係者に発信することができました。

■ G7 市民社会コアリション 2023

○計画：2023年5月に広島で G7 サミットが開催されており、市民社会レベルでの提言活動に関し市民社会コアリションが活動しています。引き続き FUNN も参加していきます。

○実施内容：2023年5月19日～21日 G7 サミットが広島で開催され、G7 への政策提言は各国の市民が参加する C7（Civil 7）とその中の6分野のワーキンググループが行いました。他にも各地で関連会合が行われました。この動きと連動して日本における市民社会の声を届けるため設立された G7 市民社会コアリション 2023（4月25日現在 120 団体参加）に FUNN は団体会員として参加、関係者や加盟団体に関連情報の提供を行いました。

・4月13日、14日 C7 サミット 東京 オンライン参加

・4月16日、17日 みんなの市民サミット 2023 広島 オンライン参加

・その他各ワーキンググループの活動等、コアリションの HP で見ることができます。

<https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/>

市民グループの意見をまとめた C7 政策提言書（コミュニケ）が4月に岸田総理に手渡されています。

<https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/blog/c7communiqué-jpn>

・6/27 「SDGs 中間年に開かれた G7～広島サミットで語られなかったこと～」ハイブリッド開催

・7月18日(火)「「G7 広島サミット & Civil7 の成果と課題 ～市民と社会的責任の観点から～」みんなの市民サミット+NN ネット

関連イベント：10/28 市民社会による貿易大臣会合サイドイベント 11/2 プラネターヘルス専門家

会合 11/21 C7 公式引き継ぎ会（イタリア） 12/5 G7 日本 2023 どう活かす？～日本のジェンダー平等加速

・12/15 総会/オープンフォーラム「市民社会の歩みは続く」 オンライン参加

○成果：すべての会合に参加はできませんでしたが、東京・広島市民サミット等にオンライン参加しました。情報等の発信を行い、G7に関わる市民社会の活動を会員や市民の皆様に伝えることができました。

■ 九州地域 NGO についての情報収集・整理

○計画：九州の NGO/CSO の調査の一環として、2023 年 1 月より協働して取り組みを始めた福岡県内の国際協力・多文化共生に関わる団体の調査を引き続き行っていきます。この調査を通じて九州地域の NGO についての整理を行っていきます。

[明日 FUNN23 重点]

2 - 1 ア) 九州地域の NGO について分野別に整理する。

ウ) 福岡県内の団体調査を 2023 年中に実施する。

○実施状況：加盟団体である NPO 法人 ISAPH との協働で福岡県内の在留外国人支援の国際協力・交流団体の状況調査をファイザーとテルモの助成を受け、ISAPH からの委託の形で 2023 年 1 月より開始しました。3 月までに対象団体をリストアップし、515 件の CSO（市民活動を行う団体/個人）にアンケートを送付し 173 件回答を頂きました。そこから 45 名に対して追加インタビューを行いました。文字起こしをしてデータ化し、分析は ISAPH において調査報告書を完成させました。

○成果：インタビューでは多くの方に貴重な話を聞くことができ、多文化共生に関わる方々との新しい繋がりを作ることができました。また、2024 年も引き続きファイザーとテルモの助成を受け事業を継続できることが決まり、地域の担い手がつながる場所となるネットワーク（多文化共生の担い手がつながるプラットフォーム福岡）を作り 4 地域でイベントを行う予定です。



▲ 完成した報告書

1-3. 国際協力に関する情報・学習機会の提供

1-3-1. 2023 年度の方針

潜在層・関心層の掘り起こしや、層の中や外がつながるための場づくり・工夫に取り組み、国際協力の活性化を目指します。今年度は特に市民向け加盟団体紹介の機会作りに取り組みます。このための情報発信の仕方を検討していきます。

[明日 FUNN 目標]

- ・九州地域の国際協力についての発信と周知ができています。／・特色あるイベントが実施できている。
- ・市民の中で国際協力の民間団体のまとめ役として知名度が上がっている。

1-3-2. 2023 年度の活動

① 国際協力に関する情報の提供

■ 国際協力ニュース（6 月、9 月、12 月、2024 年 3 月発行）

○計画：国際協力、NGO、加盟団体、FUNN の活動の情報発信ツールとして、広く市民に読んでもらえるような紙面づくり・広報誌を目指します。発行は年に 4 回（600 部）とします。また 9 月号は国際協力ニュース特別版（30 周年記念号）とし、これまでの活動の記録を残すような内容としての紙面作成を検討しています。

○実施：年 4 回発行し、正会員団体、個人会員、地域 NGO/NPO、教育機関、行政等の施設に配布しました。また NGO 相談員案内チラシや正会員団体へ告知などの発行物をニュース発行時に同封することで、正会員団体や関係機関の情報発信に協力しました。9 月号は国際協力ニュース特別版（30 周年記念号）として作成をし、30 年の間に関わっていただいた方へのインタビュー記事を掲載し、これまでの活動の流れを振り返ることのできる紙面作成を行いました。

- ・147 号（6 月発行）：巻頭：モザンビークでのテロ・紛争の地での支援活動
- ・148 号（10 月発行）：30 周年記念号
- ・149 号（12 月発行）：巻頭：NGO 福岡ネットワーク 30 周年記念イベント報告
- ・150 号（3 月発行）：巻頭：ダムに沈んだ村で考えたこと～政策提言の意味

○成果：ニュースの発行、チラシ同封等によって、国際協力に関わる話題の提供や、FUNN の活動についての広報の実施、各団体の活動に関する広報協力を行うことができました。30 周年記念号の発行により、これまでの歩みを紙面という形で残すことができ、これまでの活動について多くの方にお伝えすることができたと考えます。

■ メールマガジン「Fun ! Fan ! FUNN !」（隔週金曜配信）

○計画：加盟団体を中心とする NGO のイベントやボランティア情報などを掲載し、行動のきっかけとなるメールマガジンを目指します。発行は隔週金曜日とします。

○実施：計画通り隔週配信しました。発行日は原則金曜日に行いました。

○成果：メールマガジン編集者と配信担当者の分業制にして、滞りなく配信を行うことができました。

■ 公式ホームページとソーシャルネットワークサービス（定期発信）

○計画：FUNN 公式ホームページと Facebook、Twitter、Instagram などの SNS を連動し、FUNN や加盟団体のイベント、活動情報を市民に提供します。

・公式ホームページ：NGO 相談員報告や加盟団体の活動・イベント情報等ホームページの定期更新の頻度を上げ、最新の情報提供に努めます。

・SNS：2023 年度も引き続き SNS（Facebook、Twitter、Instagram）を活用して、NGO 相談員や FUNN のイベント情報、加盟団体からの活動情報の効果的な発信を行います。この他にも You Tube 等動画

メディアを活用して、世界を知る・NGOを知るための情報発信の仕方を検討していきます。

[明日 FUNN23] 3-② イ) 情報発信の仕方の検討、Youtube の活用を引き続き検討する。

○実施状況と成果：昨年度の予約投稿は bot 化（自動配信化）を中心にを行い投稿頻度は増えましたが同様の情報ばかりを多く発信してしまった結果情報の鮮度が低い投稿も多く、効果的な発信についての課題がありました。それも踏まえて 2023 年度は基本的に手動で投稿を行い、イベントの告知や活動報告を中心として情報発信を行いました。投稿数は減少してしまったものの、SNS の投稿をきっかけに問い合わせを頂く頻度は前年度よりも増加させることができました。今後は投稿者によって文章の書き方などに違いが生じるがありますので、統一した投稿ルールを設けることも検討していきます。

Youtube の活用は実施できませんでしたが、新規の情報発信として、多文化共生に関するページを FUNN の HP に追加しました。

2023 年 04 月 01 日～2024 年 03 月 31 日の登録者数の推移

Facebook	1003→ 1,014	フォロー数
X(Twitter)	869→ 927	フォロワー
Instagram	206→ 249	フォロワー
FUNN ホームページ	12,000	UU(ユニークユーザ/年)

② 国際協力に関する学習機会、参加の場作り

■ 倶楽部 FUNN（隔月開催予定）

○計画：国際協力に対する理解を深め、国際協力に関心のある市民が出会い・交流を深めることを目的に、学びとコミュニケーションの得られる場を開催します。内容は加盟団体を中心とした国際協力に関わる方をゲストスピーカーとして呼びし、開催します。

○実施：以下の内容をオンライン開催と対面開催を併用しながら 6 回開催しました。参加費は原則無料とし、参加申込の際に任意で「ゲストスピーカーの活動応援チケット」と「FUNN 応援チケット」を併せて販売し、寄付の協力を呼びかけました。

開催日	タイトル	講師	参加者数
4 月 28 日	「バングラデシュ訪問の旅～ 首都ダッカ・カラムディ村を旅して～」	河村富美子さん (バングラデシュと手をつなぐ会)	16 名
6 月 23 日	「フィリピンキャンプ報告」	FIWC 九州フィリピンキャンペー	13 名
8 月 25 日	『沖縄の今を知ろう』～三上智恵監督「沖縄、再び戦場へ（仮）」スピンオフ作品試写会～	FUNN	7 名
10 月 27 日	「塩塚のネパール渡航報告 2023 夏」	塩塚洋平さん（九州大学大学院地球社会統合科学府）	17 名
12 月 9 日	「顧みられない熱帯病（NTDs）と私たちの活動について」	轟木亮太さん（NTDs Youth の会）	5 名
2 月 16 日	「衡平な(Equitable)化石燃料の廃止にむけた訴え」	高田陽平さん (FridaysForFuture 福岡)	20 名

○成果：2023 年度はオンラインと対面による開催を全 6 回行い、計 78 名の方にご参加いただき、様々なテーマで国際協力の実践者や多文化共生に関わるお話しを伺うことができました。応援チケットを通じ、スピーカーの活動と FUNN へのご支援もいただくことができ、参加者同士がそれぞれの回のテーマに応じて意見交流を行うことで、学びを深めることができたと考えます。



▲倶楽部 FUNN 告知バナー



▲イベントの様子

■ NGO 合同説明会

○計画：大学生に FUNN の正会員団体をはじめ、福岡・九州で活動する NGO の活動について理解してもらう場として、また NGO 団体が大学生へ自団体の活動やスタディーツアーやボランティア、インターンシップ等の参加するきっかけづくりとして西南学院大学ボランティアセンターとの協働で開催します。

【明日 FUNN23】 3 - 1 ア) 団体のスタディーツアー紹介を再開する

○実施内容：下記の通り実施しました。今年度は前半に「国際協力と福岡の NGO について」というタイトルで協力隊と NGO 職員どちらの経験もある ISAPH の山本さんにお話をさせていただきました。その後は団体ごとにブースに分かれて団体の活動についての個別説明会を実施いたしました。加盟団体のスタディーツアー紹介はできませんでしたが、ワークキャンプを実施している NICE によるツアー紹介がありました。

日時	企画名	会場	参加団体数	参加学生数
6月21日(水) 15時半～17時半	NGO 合同説明会 in 西南学院大学	西南学院大学 3号館4階403教室	7団体	72名

○成果：参加者に国際協力や NGO について、その関わり方を知ってもらうきっかけを作ることができました。参加した学生からは「NGO に興味関心がより高まった」「自分もこの機会に参加して、多くのことを経験したいと強く思った」との声をいただき、学生の NGO に対する関心や参加への意欲を高めることができたと感じています。



▲全体説明の様子



▲ブースの様子



▲チラシ

■ NGO 福岡ネットワーク 30 周年記念イベント『つながることで、みえること』

○計画：30 周年記念シンポジウム&会員団体の出展の対面型イベント（同時開催/12 月初旬開催予定）
30 年という区切りに際し、地方のネットワーク NGO としての FUNN の在り方や、自分たちの活動を振り返り、これからについて考える機会としてシンポジウムの開催を検討していきます。また、一般の方に FUNN について・FUNN 加盟団体について知ってもらう機会としての対面型のイベントも同時に開催し、新たな支援者も募っていきます。

[明日 FUNN23] 3-② ア) 30 周年を市民向け団体紹介の機会にする。

○実施内容：公益財団法人西日本国際財団の助成を受け、下記の内容で開催しました。

第一部では FUNN も含め 10 団体の NGO 団体が出展するイベントを開催し、第二部は 30 周年記念シンポジウムとして JANIC（伊藤衆子さん）/関西 NGO 協議会（栗田佳典さん）/名古屋 NGO センター（中島隆宏さん）や FUNN にこれまで関わった方にパネラーとして登壇いただきました。

	開催日時	場所	内容
第一部	11月23日（木・祝） 11:00～13:30	福岡市 NPO・ボランティアセンター あすみん	・正会員団体出展イベント+ミニステージイベント （バングラデシュと手をつなぐ会活動紹介&オカリナ演奏/ISAPH 現地活動報告/フレンズ国際ワークキャンプ九州 活動報告）
第二部	11月23日（木・祝） 14:00～16:30	福岡市 NPO・ボランティアセンター あすみん	・30 周年記念シンポジウム 話題提供：伊藤衆子さん「これからのネットワーク NGO の役割とは？～イギリス「BOND」視察の経験から考える日本のネットワーク NGO について～」 パネルディスカッション① これまでの FUNN の歩みを振り返るー設立から 30 年までー パネルディスカッション② 今後求められるネットワーク NGO/FUNN の役割とは？

○成果：1 日を通して 53 名の方にお越しいただき、市民の方々に FUNN や加盟団体 NGO について知ってもらう機会を作ることができたと共に、コロナ禍において希薄となっていた団体同士のつながりや、過去 FUNN に関わってくださった方々との繋がりも再度作ることができたと感じています。シンポジウムにおいては、これまで FUNN に関わってきた方々と、同じネットワーク NGO で活動をしている方々と共に、FUNN がこれからどんな役割が求められているかを考えることができました。



■ 30周年記念バースデーネーションの実施

○計画：今後の FUNN の活動全般で活用できるバースデーネーションを、30 万円を目標に開催いたします。

[明日 FUNN23] 6-③ 財源を広げる努力を続ける

○実施と成果：2023 年 11 月 1 日～12 月 31 日の 2 ヶ月間で実施しました。実施の際クラウドファンディングサイト「シンカブル」を活用したほか、銀行振込やイベント出展時の募金箱設置等、様々な形で寄付を募りました。2 ヶ月間の間に 34 の個人と団体から寄付をいただき、また募金箱への募金額もあわせて ¥270,006 のご寄付をいただきました。目標金額には残念ながら到達しなかったものの、改めて多くの方々からの応援や支えを頂いていることを実感する事ができました。



▲クラウドファンディングサイトとよびかけチラシ

■ 第 23 期 NGO カレッジ「ガザ映画上映会 -今、改めてパレスチナ問題の背景を知る-」

○計画：一般市民を対象に国際協力の理解・参加促進を目的とした国際理解事業を企画、実施します。

○実施：3 月 20 日に冷泉荘のレンタルスペースで 2 部に分けて開催し、映画の上映会と参加者同士のグループトークを行いました。これまで FUNN でパレスチナ問題について取り上げる機会がなかったため、映画を通して学ぶ機会を設けました。

開催日時	場所	各回の鑑賞映画タイトル	講師	参加者数
3 月 20 日 (水・祝) 11:00～13:30	リノベーションミュージアム冷泉荘・冷泉荘ギャラリー	土井敏邦監督作品 『ガザに生きる』 2 章「二つのインティファダ」	吉田登志夫さん (福岡パレスチナの会)	18 名
3 月 20 日 (水・祝) 15:00～17:10	リノベーションミュージアム冷泉荘・冷泉荘ギャラリー	土井敏邦監督作品 『ガザに生きる』 3 章「ガザ撤退とハマス」	吉田登志夫さん (福岡パレスチナの会)	15 名

○成果

参加者の方々からは「今まで知らなかったパレスチナの考え方について知ることができました」や「背景は複雑ですが流れがわかりやすかったです」といったご感想をいただくことができました。また、今後も映画上映会の開催の希望の声もあったので、来年度以降も他の題材を取り上げた開催を検討します。



▲集合写真



▲上映中の様子



▲吉田さんのコメント

■ 外務省 NGO 相談員

○計画：外務省 NGO 活動環境整備支援事業「NGO 相談員」として、市民・企業・行政・教育機関等からの NGO や国際協力に関する相談業務を行います。2023 年度は対面を基本としながらも、引き続きオンラインによる相談対応も積極的に展開し、より多くの方から NGO 相談を受けられるよう努めます。

・相談対応業務：前年度よりも相談件数を増加させる。相談者の内訳のうち、学生や教育関係者からの問い合わせ増加（対応人数の増加）を目指す。

・広報：SNS での告知で一般市民の方へ「NGO 相談員制度」の認知度向上と NGO と ODA とをはじめとした日本の海外支援についての理解度向上を目指す。

（指標目標と実績）

	実績合計	目標	達成率
出張サービス	11 件	7 件	157.00%
S N Sリーチ	30,676 件	25,000 件	123.00%
相談	443 件	470 件	94.00%

○成果：

相談件数は 443 件と前年度を下回り、さらに目標件数を達成することができませんでした。件数は達成することができませんでしたが、1 件 1 件の相談に関して丁寧に伴走支援を行うことを心がけ、1 回で終わるのではなく、同じ方や団体から複数の相談の問い合わせを受けるなど相談者との結びつきを強くすることができました。相談者内訳に関しては「NGO 関係者」が一番多く、ついで「学生・生徒」の方からお問い合わせを受けました。今年度は「会社員・自営業者」の方からの問い合わせ件数を前年度と比較して増加しており、企業で務める方や自営業者など仕事をしながらボランティアに参加したい方や CSR の一環で取り組みたいというニーズが年々増加しているように感じておりますので、対応できるよう情報収集やスキル向上を行ってまいります。

広報については目標リーチ数を達成することができました。23 年度もこまめな情報発信を心がけたほか、関係各所からの情報拡散の協力もありリーチ件数を伸ばすことができました。また、件数だけでなく広報がきっかけで出張サービスの依頼が複数件届くなど、実際の活動に結びつけることができました。

■ NGO 相談員「出張サービス」

○計画：市民などからの相談対応を通じた国際協力の理解促進を目的に、国際協力関連のイベントなどにおける相談対応や講演活動を積極的に実施します。対象は九州ブロックの 7 県です。

2023 年度は主に対面での実施を基本とし、遠方に関してはオンラインでの実施も活用しながら、九州ブロック 7 県での実施を目標とします。

○実施：目標を上回る件数の出張相談対応を行いました。

・出張サービス件数：11 件（目標 7 件）

日程	出張先	場所
2023年5月21日	みやざきインターナショナルフェスタ〜ワールドテラス〜 2023	宮崎県宮崎市
2023年6月24日	ギラヴァンツ北九州国際交流イベント	福岡県北九州市
2023年6月27日	JICA九州国際協力推進員会議	オンライン
2023年7月14日	佐賀県立厳木高等学校	佐賀県唐津市
2023年8月2日	霧島市立国分中央高等学校	オンライン
2023年8月16日、17日	FUKU-NET パネル展	福岡県福岡市
2023年9月10日	環境イベント「イーコトフェスタ」	福岡県福岡市
2023年11月5日	おおいたワールドフェスタ2023	大分県大分市
2023年11月12日	せかいドリンクフェスティバル	福岡県古賀市
2023年12月12日	長崎南山高等学校	長崎県長崎市
2024年2月28日	JICA九州国際協力推進員会議	オンライン

○成果：

出張サービスは目標7件に対し11件と過去最高の出張サービスを実施することができました。今年度は積極的なSNSでの出張サービス案内・報告の発信や関係各所への呼びかけ依頼を行い、特に教育機関からのご依頼を多数いただくことができました。数値目標は達成できましたが目標に掲げていた「九州全県での実施」については熊本県では実施することができませんでした。しかし近年実施できていなかった長崎県や今まで団体所在地から遠方にあたり実績が少なかった宮崎県や鹿児島県などでの実施ができ今後の当該地域における出張サービス実施につなげることができました。次年度以降も引き続き積極的な呼びかけを行い九州全県での実施を目標に取り組んでまいります。広報については目標リーチ数を達成することができました。23年度もこまめな情報発信を心がけたほか、関係各所からの情報拡散の協力もありリーチ件数を伸ばすことができました。また、件数だけでなく広報がきっかけで出張サービスの依頼が複数件届くなど、実際の活動に結びつけることができました。24年度以降については改めて各SNSの利用者層や投稿内容を検討して効果的な情報発信を心がけて行きます。



▲出張授業の様子



▲ブース出展の様子



▲パネル展の様子

■ イベント参加・出展

○計画：各種イベントに参加・出展を行います。九州各県の国際協力推進員や、国際交流協会、行政、各地の NGO や関係機関と連携することで各地のイベントに多く出展することを目指します。

○実施：NGO 相談員「出張サービス」にて実施。九州各地で開催された国際イベントや環境啓発、スポーツイベントにブース出展を行いました。加盟団体の資料展示やフェアトレード商品の販売、国際協力に関する無料相談をお受けしました。

また出張サービス以外では 12 月に福岡市で開催された FUNN が加盟している FUKU-NET35 周年記念イベントに出展しました。

○成果：各種イベントの参加を通じて市民への国際協力の相談に応じ、NGO や国際協力についての理解促進につなげることができました。



▲ イベント出展の様子

■ 講師派遣

○計画：大学や小中高校での総合学習の授業や公民館、市民・他団体の取組・企画に FUNN 職員などを派遣、および派遣の調整を行います。

○実施：出張サービスでの実施以外に、以下の講師派遣を実施しました。

・九州国際大学 国際協力実践論への講師派遣

6月26日 NGO 福岡ネットワーク（多原）／7月3日 難民を助ける会 佐賀事務所

7月10日 フレンズ国際ワークキャンプ九州／7月24日 ISAPH

・福岡市 NPO・ボランティアセンターあすみん あすみん交流会

2024年1月20日 NGO 福岡ネットワーク（多原）

○成果：参加者に国際協力や NGO 活動について伝えることができ、当団体や他 NGO への参加のきっかけを作ることができました。

教育機関との連携拡充については、具体的な実施はできておらず、検討を継続していきたいと思えます。



▲ あすみん交流会登壇の様子

■ その他の学習会（FUNN 主催）

○実施内容：その時々状況に対応し、今年度は以下の勉強会を開催しました。

・2月10日（土）【FUNN・FNA 共催／学習会】

「ダムに沈んだ村から見たこと：開発援助をめぐる変化と課題」

講師：土井利幸氏（FNA 副代表/メコン・ウォッチ理事・職員）

○成果：メコン流域ダム開発の経緯や流域の人々のリアルな現状などを知ることができました。



▲ FUNN・FNA 勉強会の様子

1-4. NGO 活動に関する人財育成

1-4-1. 2023 年度の方針

下記目標の達成を目指します。

[明日 FUNN 目標]

- ・国際協力の担い手が育成できており、FUNN や加盟団体の活動への人的強化もできている。
- ・教育機関との連携ができている。

1-4-2. 2023 年度の活動

■ ボランティア

○計画：国際協力や NGO の活動に関心のある人を FUNN のボランティアとして受け入れ、また加盟団体の紹介などを行います。2023 年度は現在定期的に参加してくれているボランティアの方とも繋がりを継続しながら、新たに参加してくれる方も募っていきます。また、あすみん等の公共施設やインターネット上でのボランティアの呼びかけを積極的に行っていきます。

○実施：2023 年度も適宜ボランティアの受け入れを行いました。4 名の学生に広報・学習会運営等、2 名の社会人に庶務・日本語支援教材作成・広報等へご協力いただきました。

■ インターンシップ

○計画：FUNN の活動に携わるインターンを募集し、国際協力に関わる人財の育成に取り組みます。2022 年度も前年度同様 NPO 法人ドットジェイピーから派遣された大学生インターンシップを夏季と春季にそれぞれ 2 名受け入れ予定です。また 30 周年事業に関わってくれるような長期インターンシップ生の募集も行っていきます。

○実施：夏季 1 名の学生インターンをドットジェイピーより受け入れました。

○成果：ボランティアやインターン受け入れを通じ、国際協力に関心を持つ若い世代の方に体験の場を提供することができました。また参加いただいた方々からも企画等に様々なインプットをいただくことができました。



▲ 2023 年度参加インターンシップ生

■ スタッフ研修

○計画：各種制度を活用し、スタッフの能力向上や経験の蓄積につながるような研修の機会を設定していきます。今年度は NPO 法人泉京・垂井が実施する NGO 等提案型プログラムに参加を予定しております。その他にも外務省主催の NGO スタディプログラムの応募も検討していきます。

[明日 FUNN23]

6-① ア) スタディプログラム、インターンプログラム等検討していく。

イ) 研修プランを検討する。

ウ) 30 周年をスタッフ自身の一つの研修機会とする。

○実施内容：参加した研修は下記となります。

- ・泉京・垂井「あどぼのプラットフォーム会議 2023」(多原)
- ・開発教育協会 (DEAR) 「d-lab2023」(多原)
- ・泉京・垂井「地域のお作法発見方法」(松崎)
- ・JaNISS 「ファーストエイド研修」(松崎)
- ・国際協力 NGO センター (JANIC) 「HAPIC」(オンライン・全員)

スタディプログラムについては採択されなかった。

○成果：スタッフそれぞれが自身の能力強化につながるような研修に参加し、見聞や知識を深めることができました。また 30 周年では、以前の理事やスタッフへの聞き取り、3 か所の地域ネットワーク参加のシンポジウムを行い、スタッフ自身、FUNN の歴史や意義を知り、ネットワーク NGO の重要性を再認識することができました。この経験を今後自団体が持つ活動の課題の改善に役立て、また他団体への支援にもいかしていきます。

■教育機関との連携

○計画：[明日 FUNN23] 3-① イ) 教育機関との連携の拡充を検討していく

○実施・成果：NGO 合同説明会、大学への講師派遣、NGO 相談を通じた高校等への講師派遣は実施しましたが、まだ拡充の余地はあると考えています。継続して取り組みます。

1-5. NGO 間及び各種団体との連携促進

1-5-1. 2023 年度の方針

国際協力の理解促進、発展、社会的課題の解決を目指して、NGO あるいは NGO とは異なるセクターを繋ぐことによる相乗効果を目指します。

[明日 FUNN 目標] 企業と連携している。対政府・自治体から信頼されている。国内外の NGO/ NPO から信頼され、様々なネットワークが持っている。

1-5-2. 2023 年度の活動

1 ネットワークの構築

○計画：現在ある繋がりを強め、繋がりを担う人材の確保にも務めます。また近年あまり実施できていない企業へのアプローチや連携のあり方について検討し、可能なところから実施していきます。また現在実施している調査及び 30 周年記念事業を通じて、ネットワークの新規の繋がりを増やしていきます。

[明日 FUNN23]

4-①企業へのアプローチや連携の在り方について、検討し、可能なところから実施する。

4-②対政府・自治体：2022 年度にできた繋がりを大事にしていく。

4-③対 NGO:30 周年行事を地域ネットワークとの繋がりを深める機会とする

5 新規事業：在留外国人支援団体調査の結果を受け、2024 年度の新規事業を計画する。

■福岡国際関係団体連絡会（FUKU-NET）に原田副代表が運営委員として参加

・第 199 回及び第 200 回連絡会が開催され、学びのときがもたれました。

・8 月 16 日～8 月 17 日 福岡市役所 1F にて FUKU-NET 加盟団体のパネル展が行われ FUNN も展示と NGO 相談として参加しました。

・12 月 9 日～10 日 FUKU-NET の 35 周年記念イベントとして Friendship Festival が開催され、FUNN も出展しました。

■九州地域の国際協力（多文化共生を含む）に関わる団体のラウンドテーブル（FUNN 呼びかけ・運営）

2024 年 2 月 1 日（木）JICA・NGO スタッフ・九州各地の国際関係機関関係者等 20 名の参加

議題：今回は多文化共生をテーマとし、①FUNN と ISAPH が実施した多文化共生に係る調査事業報告と今後の取り組みについて、②JICA が実施している多文化共生の取り組みに関する共有を行った後、参加者とのディスカッションの時間を設けました。

■ その他の取り組み

下記の取り組みを通じ、ネットワークの構築や連携促進に努めました。

- ・機会を見て関連団体を訪問し関係づくりや促進を行いました。
- ・福岡県内の在留外国人支援の国際協力・交流団体の状況調査により、福岡県内各地の国際協力・多文化共生窓口に連絡や訪問を行い、福岡県内における多文化共生に関わる団体や個人ともつながりを作ることができました。この結果を受け、新規事業として「多文化共生の担い手がつながるプラットフォーム福岡＝たぶプラ福岡」事業を ISAPH、Just Link と協働計画、2024 年より準備を始めました。
- ・企業との連携は、前年度から特に進展させることができず、次年度引き続き課題としていきます。
- ・30 周年行事を地域ネットワークとの繋がりを深める機会とすることができました。詳細 [POO](#) 参照
- ・事務所を置いている福岡 NPO 共同事務所「びおとーぶ」には 2023 年度は 8 団体参加。月 1 回運営委員会を持ち情報交換等行っています。びおとーぶは 25 周年を迎え、WEB 上に 25 年を振り返るアルバムと年表を作成しています。

■ ネットワーク活動

(特活) 国際協力 NGO センター、(特活) 関西 NGO 協議会、(特活) 名古屋 NGO センター、独立行政法人国際協力機構九州センター、JICA 国際協力推進員、(公財) 福岡よかトピア国際交流財団、福岡国際関係団体連絡会 (FUKU-NET)、(公財) 福岡県国際交流センター、コラボステーション福岡、福岡市 NPO・ボランティア交流センター「あすみん」、福岡市人権啓発センター「ココロンセンター」、福岡 NPO 共同事務所「びおとーぶ」、志免町まちづくり支援室、北九州市市民活動サポートセンター、久留米市市民活動サポートセンター「みんくる」、佐賀市民活動プラザ、佐賀県国際交流協会、大分市国際課、長崎県国際交流協会、熊本市国際交流会館、宮崎県国際交流協会、鹿児島県国際交流協会、地域 ESD 推進拠点、G7 市民社会コアリション 2023、社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク (NN ネット)、市民社会スペース NGO アクションネットワーク(NANCIS)、NGO 非戦ネット、N ピポ



▲Friendship Festival の様子



▲ラウンドテーブル実施の様子

2.組織

2-1. 組織運営・体制

役員

【理事】

二ノ坂 保喜／（特活） Bangladesh と手をつなぐ会 代表 [代表理事]
藤井 大輔／ 債務と貧困を考えるジュビリー九州 代表、九州国際大学現代ビジネス学部 准教授 [副代表]
原田 君子／（特活） NGO 福岡ネットワーク 前事務局長 [副代表]
安村 妙 / JVC 九州ネットワーク
楠原 圭子／ アジア開発銀行福岡 NGO フォーラム 事務局
本田 正之／（特活） NGO 福岡ネットワーク 元事務局職員
弥栄 睦子／（特活） トゥマンハティふくおか 代表
河上 雅夫／ 賛助会員

【監事】 吉田 睦 /（特活） coco change 理事

事務局

【事務局長】 安村 妙

【事務局スタッフ】 松崎 浩平、多原 真美、塩塚 洋平、清藤 直子（会計 2023年12月まで）

担当

【NGO-外務省定期協議会連携推進委員会】安村 妙

【NANCIS】藤井 大輔

【FUKU-NET】原田 君子

【非戦ネット】二ノ坂 保喜／安村 妙

- 通常総会：2023年度総会：5月27日（土）びおとーぶ会議室と zoom のハイブリッド開催
- 通常理事会：毎月1回
理事会開催実績：2023年4月24日、5月2日、6月16日、7月21日、8月24日、9月22日、10月20日、11月16日、12月14日、2024年1月19日、2月15日、3月21日
- 事務局会議：毎週1回火曜日

2-2. 会員

正会員（全 19 団体）

(特活)ISAPH

認定 NPO 法人難民を助ける会 (AAR Japan)

アジア開発銀行福岡 NGO フォーラム

(特活)アジア女性センター

(特活)九州海外協力協会

債務と貧困を考えるジュビリー九州

佐賀 NGO ネットワーク

JVC 九州ネットワーク

(特活)じゃっと

認定 NPO 法人地球市民の会

チベットを知る会

NPO 法人トゥマンハティふくおか

ネパール歯科医療協会(ADCN)

(特活)バングラデシュと手をつなぐ会

PP21 ふくおか自由学校

福岡 Y M C A

フレンズ国際ワークキャンプ九州

(一社)ミドリゼーションプロジェクト

(一社)モザンビークのいのちをつなぐ会

個人会員

賛助会員（個人） 14 名

賛助会員（団体） 0

賛助会員（企業） 0

通信会員 18 名

※2024 年 3 月 31 日現在